

Lac ライフアートコミュニティ佐保の里 通所介護・訪問介護・居宅介護支援 佐保の里たより	 	ディサービスセンター佐保の里 〒630-8105 奈良市佐保台2丁目902-241 電話： 0742-70-5020 FAX： 0742-70-5022 青山ディサービスセンター 〒630-8101 奈良市青山4丁目3番 電話： 0742-23-1020 FAX： 0742-23-3022 菅原ディサービスセンター 〒631-0842 奈良市菅原町298-1 電話： 0742-53-2020 FAX： 0742-53-2022 ホームページ http://www.lifeartcommunity.com
---	---	---

介護保険制度改革における



地域包括ケアシステムのゆくえ



日本は今少子高齢化時代に入り、65歳以上の高齢者数は2012年3657万人となり、高齢化がますます進む上、認知症高齢者や世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯はさらに増加していくと見込まれています。また2012年、65歳以上人口の内、75歳以上人口の占める割合は33%であったものが団塊の世代が75歳以上に突入する2025年には65歳以上人口の37.3%になり、2055年には40%となり4人に1人が75歳以上であるという超高齢化時代になることが今後予想されます。

そのような中で、65歳以上の介護認定を受けている要介護高齢者の数は2010年には480万人であったものが2025年には702万人(約1.5倍)まで増加するものと推定され、認知症高齢者も280万人から470万人に増えるとみられています。

介護保険制度の現状は、いうまでもなく、高齢者人口の増加に比例して給付費の増加を余儀なくされ、2000年度に3.6兆円であったものが2013年度には9.4兆円の2.6倍となり、2025年度は21兆円程度に増加するものと推定されます。

ただ高齢者の数はピークを過ぎると長期的には減少していくため、入居型の介護施設を多く整備すると、供給過多になることが予想されるため、厚生労働省の調査では「介護を受けながら住み慣れた地域、自宅で暮らしたい」と望む高齢者が7割を占めており、政府は在宅介護を軸に整備していく考えです。

そこで、厚生労働省は「地域包括ケア」を推進し、ニーズに応じた住宅が提供されることを基本とした上で、日常生活上の安全・安心・健康を確保するために医療や介護のみならず、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活の場(日常生活圏域)で適切に提供できるような地域での体制を基盤とした「地域包括ケアシステムの構築」を2025年に向けて実現しようとしているのです。

人が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムですが、この実現に向けての課題は山積みされています。

一つには、現行の介護保険での予防給付を生活支援サービスに移行するとしていますが、生活支援サービスとは、介護保険外の配食サービス、見守りサービス、サロン活動等のサービスを意味しているのですが、市町村に依存する地域支援事業で賄えるのか、例えば農林部では人材そのものが不足、地域格差が生じ、移行不可能な地域が出たり、又、これら生活支援サービスの実施を無償のボランティアに期待することは到底無理と考えられます。更に、要支援者を対象とした介護予防訪問介護、介護予防通所介護にしても特別な事情が発生した場合、どのように配慮するのか、配食サービスやサロン活動では対応できない等、多くの課題が残っています。しかし、厚労省がこの「地域包括ケアシステムの構築」を実現しようとしている中で、多くの課題に対して、各団体はしっかりと要望を出す事。そして今、我社としてしなければならないことは地域に貢献するとともに、理念「地域社会に密着し介護を望む又介護を必要とする生活者に対し生きる喜びと健康を守るために限らない努力を重ねる」の信念で、在宅介護施設として地域の皆様に喜んでいただける施設創りを目指すことが重要なことではないかと思っています。

第9回 生甲斐作りの作品展

第9回生甲斐作りの「作品展」が10月19日(土)から10月22日(火)までの4日間、佐保の里のご利用者様で陶芸教室「夢境庵」庵主の藤岡 泰三様主催で奈良県健康福祉部の後援により、イオンモール大和郡山店の2階にあるイオンホールにおいて開催されました。

陶芸・絵画・写真・手芸・工芸など数多くの作品が展示されており、「夢境庵」を始め、介護施設・デイサービスからの出展がイオンホール全体を埋め尽くしているのを目の当たりにし、高齢者社会・無縁社会を乗り越え、皆様が向上心を持ち、自立生活を実践し、社会参加されている作品に、この作品展に来場され鑑賞されている方々は感動、また元気をいただいております。

また来年の作品展に向けて、ご利用者様がモチベーションを高め、作品展を生甲斐としていただけたらとても喜ばしいことだと思います。



菅原デイサービスセンターご利用者様



青山デイサービスセンターご利用者様



カレンダー製作



夢境庵 庵主 藤岡 泰三氏



作品展風景



*佐保の里、青山デイサービスセンター、菅原デイサービスセンター展示スペース。

ご利用者様作品集



佐保の里陶芸作品



中村とくゑ 様



笠置セツ子 様



岩本俊子 様



福島輝子 様



田中清江 様



由良きぬ 様



江馬貴代子 様



窪フジ子 様



植田修二 様



福島としゑ 様



染井勝稔 様

掲 示 板(1)

ライフアートプランテック・ライフアートコミュニティを取り巻く内外部の環境は大きく変化し、事業内容も環境に順応した変化が、事業継続の上でも必要となってきます。

この大きく変化する事業に、適合する人材の育成が課題となってきました。特に将来を担う中核社員の人質の向上と育成が急がれ、今期の事業計画の中で最重点課題として「人材育成」を明示しています。社員を会社の財産として、人材でなく人財として育成していくことが重要と考えています。

今回「中核社員研修」を実施するにあたり、サクセスポイント株式会社代表取締役 渡辺 誠氏を講師でお招きました。渡辺氏は、「ポジティブ心理学」や「リーダーシップ理論」の最新情報を収集し、研修やワークショップに活かしておられ、「ポジティブ心理学」を利用した人材開発や組織開発で成果を上げられておられます。研修は、「**人間力のあるリーダーになる**」をテーマに、平成25年9月から12月まで毎月1回実施します。

ライフアートプランテック・ライフアートコミュニティ合同研修



長田社長の開講の挨拶



グループ討議

仕事の意味(福祉)

利用者やその家族だけでなく、我々会社に関する人々の生活を守り、QOLを高めまた自分が成長するため



渡辺 誠 先生の研修の説明



第1回目のグループ討議



第2回目のグループ討議

検討発表

「人間力のあるリーダーとは・・・」各グループが検討した結果の一例



人間関係に投資をし、ビジョンに向かって人を巻き込み、結果を出せる信頼できる人



人を信頼できる豊かな包容力があり、常に目標に向かって皆で向上して行ける魅力ある人



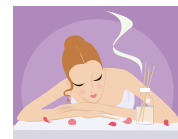
愛に溢れ影響力、判断力、統率力を兼ね備え夢、目標を達成する為にポジティブ思考で皆を鼓舞し現実に成功させる人

掲 示 板(2)



平成25年6月奈良市菅原町に開設いたしました、「菅原デイサービスセンター」に「足癒」を設置しています。
お湯を使わずにナノミストで温まる足浴がご利用様に好評です。実際にお使いいただいたご利用様の感想をお聞きますと・・・

- ・足のむくみがとれる
- ・血色が良くなり温かさが持続する
- ・肌がすべすべになった
- ・リラックス効果があり、同席の方がおられると話が弾む・・・等の声が聞かれます。



超微細のミストが脚部に浸透し、身体からの促しによる発汗ですから保温・保湿効果が長く続きます。内部で発生した多量のナノミストで塵や埃、雑菌、嫌な臭いも捕まえ洗い流します。これから寒くなる時期には、足元から全身を温めることは血流がよくなり、ヒノキの香りでリラックス効果もあります。



ご利用者様のお食事



ライフアートコミュニティ佐保の里では、ご利用者様のご要望にお応えするため、各サービスの見直しと改善を行っています。

今回、リハビリと同様に佐保の里の特徴であり、日々ご提供させて頂いています温かい「お食事」について、ご利用者様、職員の意見を参考にして、委託しています業者と共同で少しでもご利用者様のお口に合うように改善を行いました。これからもご意見を参考にし、改善を行い満足いただけるサービスを提供できるように努めます。

ご提供させていただいています「お食事」の一例



南京コロッケ・煮付・インゲン



鍋照り・天ぷら・馬鈴薯のツナ炒め



牛肉コロッケ・エビフライ・ほうれん草



ポトフ・エビカツ・青梗菜のピリ辛

新人職員の紹介



今村 由利さん

所属 ライフアートコミュニティ佐保の里 居宅介護支援事業所
職務 介護支援専門員(ケアマネージャー)

<自己紹介・抱負>

在宅の介護支援専門員は初めてで、途中入社ですが「ピカピカの1年生」です。どれだけご利用様に寄り添った支援ができるかわかりませんが、一生懸命頑張りたいと思います。



介護予防

～症例検討会の紹介～

【症例検討会とは】

佐保の里では昨年度から外来の理学療法士の講師を招き、毎月勉強会を行っています。昨年度は年間を通して様々な内容の勉強会を開催していただきました。

今年度は講師の元、職員が中心となって症例検討会という勉強会を行っています。症例検討会とは、利用者様1人に注目し、職員が困っている事や利用者様・家族様の要望にどのように対応していけばよいかを話し合う勉強会です。佐保の里、青山、菅原の職員が合同で毎月、それぞれの事業所の利用者様を1人ピックアップして検討会を行っています。ひとつの事業所内で話し合ってもなかなか答えがでないことが多いのですが、他の事業所の客観的な視点から物事をみることで新たな解決法や糸口がみえてくることもあります。

【症例検討会の結果】

実際に検討した症例と話し合いの結果職員が行ったアプローチの取り組みと改善点について簡単に紹介したいと思います。

まずA様という方ですが、認知症があり、様々な問題によって自宅での入浴職員からのスリング体操や特に入浴に対して強い拒否がありました。またその際には暴言等もみられました。どうすれば入浴をしてもらえるかを考え様々なアプローチで入浴へのお誘いをしましたが、A様の考えは変わりませんでした。

症例検討会の中では、認知症についての考え方から始まりました。そこで講師から「ひもときシート」というものを説明していただきました。認知症＝暴言や暴力行為ではなく、なんらかのストレスや不安等からそういった行為に繋がっているという話でした。この「ひもときシート」は、原因となるストレスや不安等の原因を一つずつ探り、それを基にアプローチ方法を考えていくというものでした。

検討会のあと、ひもときシートを職員全員で共有することと、入浴に誘われるという事自体がストレスと考え、強引に入浴を誘うということをやめました。その代わり、足浴からのアプローチを行いました。足浴についても最初は拒否がありましたが、足浴のメリットを説明し、納得して頂いたうえで実施していくことができました。現在も最終的なゴールを入浴していただくこととし、それに向けてアプローチを継続中です。

この症例検討会を通し、ライフアートコミュニティの職員一丸となって考えることと、また講師からのアドバイスによって今まで気付けなかったことも見えてくることがあります。満足して頂けるサービスを提供していけるよう、この検討会をこれからも実施していきたいと思っています。



外部講師による検討会



ひもときシート

スリング体操の新テーマ

12月1日～

12月からのスリング体操ですが、「車・バスの乗り降り」に注目した運動メニューを考えています。最近では軽減してきているものの、バスの昇降口の段差は高く、特に高齢者にとっては大きな障害になると考えられます。特にこの段差昇降に注目し、その他にも車に乗る際に必要となる運動機能にアプローチできるような内容になると思いますので、また気持ち新たに頑張ってくださいと思います。

理学療法士 上東 剛志

佐保の里・菅原デイサービスセンター

菅原デイサービスセンター

菅原デイサービスがオープンして約5が月になります。ご利用者様も徐々に増えてきて、リハビリは勿論、日々のレクリエーションも皆様に楽しんで頂けるよう、色々なことを提供させて頂いています。

今回は「園芸」に挑戦しました。昔、畑仕事や庭いじりをされていた方もおられ職員のほうが教えて頂きました。

菅原のドライバーの三谷さん(現在も畑を耕し野菜を作られています)の指導のもと鹿沼土という野菜用の土をプランターに入れ、二十日大根、人参、菊菜、小松菜とお好きな野菜を各々で植えて頂きました。



現在、順調に成長しており、12月頃には収穫予定です・・・プランターで手軽にできる野菜作りに実物を手にするまでは皆さん半信半疑であり、楽しみでもあります・・・



これからも、利用者様にレクリエーションを通して色々なことに挑戦して頂いたり、癒されて頂いたり菅原デイに来て頂く楽しみの一つになるよう、職員一同頑張ります。



佐保の里

佐保の里では今年も恒例の「秋の大運動会」を10月29・30・31日に開催しました。毎年ご利用者様の日頃のリハビリの効果や「運動会」という楽しいイベントを楽しみにして頂き、今年も利用者様の笑顔が沢山見られました。競技内容は「玉当て・玉入れ」「これもあれも送っちゃえゲーム」「パン食い競争」と楽しい競技ばかりです。

利用者の皆さんも疲れも忘れて、元気にまた必死に頑張っておられました。

毎日は大変ですがご利用者様にとっては究極の迫力のあるリハビリになっています。



こすもすドライブ

秋の季節感を感じて頂くイベントとして今年も「秋のコスモスドライブ」に出掛けました今年も柳生方面のコスモスで畑で大変愛らしいコスモスに沢山出会えて秋本番を感じて頂きました。



青山デイサービスセンター

白樺のご利用者さん

中西 弘一様 🍀 節様 ご夫婦

お二人をご紹介します

奈良市南庄町にお住まいの中西様は、弘一様の左大腿骨骨折で入院され、その後のリハビリのために週3回、節様とご一緒に利用して下さっています。



弘一様 85歳 節様 84歳

弘一様は学校卒業後、百姓仕事をされていましたが、30歳になった頃に大型免許を取得され運送会社にお勤めされていました。



吉野や十津川方面の細い山道をタンクローリーや10トントラックで走り、時には雪の降る中、チェーンなしの命がけで仕事をされていたそうです。その頃のトラックはハンドルが大変重く、片足を踏ん張らなければコーナーを曲がる事が出来ない高度な運転技術が必要でしたが、弘一様は細い山道をスイスイと走っておられたという腕前をお持ちです。今でもトラックを見ると運転したくなりますとおっしゃっていました。

節様は、弘一様が運転されるトラックに乗せてもらい、「格好良いなあ〜」と何度も思われたそうです。そんな節様は以前はゴルフのキャディーさんをされていて、朗らかなお人柄でプレーされる方を癒しておられたと思います。現在お二人は娘さん夫婦と同居されていて、身の回りのことすべてをしてもらっていますので安心して生活出来ていますと大変感謝されていました。



青山デイサービスに一言お願いします

職員の皆さんが優しく親切にしてくれますので、満足して利用しています。現在杖2本で歩行していますが、週3回のリハビリを頑張り、1本で歩けるようにしたいと思います。と弘一様が意気込みを語って下さいました。これからもお二人の笑顔で青山デイサービスを盛り上げて下さいね。

インタビュー担当 社長室 黒瀬

敬老の日食事会



今年もお元気で敬老の日をお迎えになられたことを職員一同心からお祝い申し上げます。今回の敬老会は、普段外出する機会が少ないご利用者様もいらっしゃる為、昼食を外で食べて頂く事にしました。場所は奈良ロイヤルホテル日本料理「竹の家」での食事会を開催致しました。この時期は、ちょうど敬老の日と重なり何処のお店も混雑していましたが、直接お店に行き机の配置など交渉いたしました。今後もお利用者の皆様が喜んで頂けるイベントをどんどん考えていきたいと思います。

青山デイサービスセンター 副施設長 谷本 俊宏